



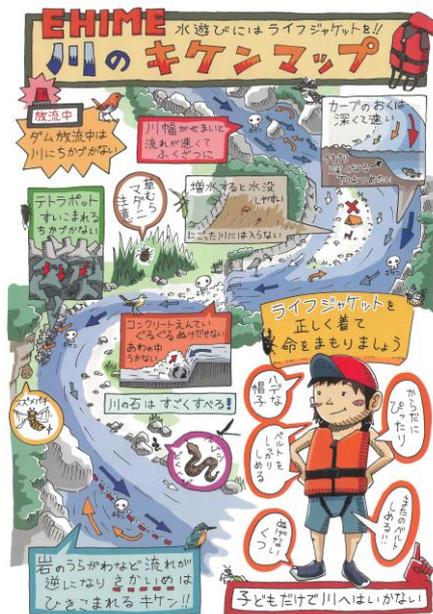
しおさい

令和7年7月18日
西条市立禎瑞小学校
校長 阿部 浩二

1学期もあっという間に終わろうとしています。今年の夏は梅雨の期間がとても短く、いつにも増して暑い日が連日続いているように思います。保護者・地域の皆様には、日ごろから本校の教育活動に対しまして、多大なご支援・ご協力を賜っておりますこと、心よりお礼申し上げます。おかげさまで子どもたちは、1学期を笑顔で生き生きと活動することができました。

さて、まもなく夏休みになります。毎年全国各地で水難事故の報道がされています。6月には姫路市の中学生が川で溺れて死亡し、7月には、鳥取県や千葉県のコスモス海岸で、中学生や20代の男性が溺れた事故もありました。また特に、昨年度は加茂川で痛ましい水難事故が発生しました。全国的に見ても、小中学生の事故による死亡原因の上位は水の事故と交通事故です。そのため夏休みを前に、今年も6月30日(月)に、久保一平さんを講師にお招きして、ライフジャケット講習会を行いました。

子どもたちはまず座学により、西条市は高い石鎚山と海が近いため、川の流れが速くなり、危険であることを理解しました。そのため右のパンフレットを見ながら、注意すべき点について学びました。



そのあと3年生以上は、実際にプールでライフジャケットの正しい装着方法や、流された時に役立つ、立ち泳ぎ、平泳ぎ、イカ泳ぎなどの泳法指導を受けました。また、本当に溺れている人にはおやみに近づかず、浮くものを投げるなど、二次災害の危険性や対処方法についても指導していただきました。



子どもたちにとって夏休みは、長い休みにしかできない、いろいろなこと(読書、作品づくり、お手伝い、体力づくり、体験活動など)に継続的に挑戦できる有意義な期間だと思います。しかし何よりも命が大切です。そのため、子どもたちが充実した楽しい夏休みを過ごすことができるよう、温かい励ましや見守り等のご支援・ご協力をお願いいたします。

9月1日(月)の始業式に、全員がそろって登校できることを期待しています。